

報道資料(プレスリリース) 会社名:株式会社イワキ

経営革新計画テーマ:生産管理システム導入による受注ロスの解消と利益率向上。

概要・ポイント:当社はDXに取り組みます。新しい価値を生み出すためにも、電気料金および原材料費の高騰のピンチを乗り越えるためにも、工程管理はもちろん、当社の業務プロセス全体をデジタルの力で変革し、高い競争優位性を確立します。



株式会社イワキ 代表取締役 小林 隆
資本金 1000万円 従業員15名
宜野湾市志真志一丁目 20 番 7 号
電話番号 098-896-1566
営業内容:布団、寝具類の卸売業、枕・クッション・かりゆしウェア製造業

昭和 63 年 1 月浦添市内間で設立
平成 5 年 10 月クッション、枕加工吹込装置 導入
平成 12 年 7 月宜野湾市志真志(現住所)に移転
平成 26 年 9 月デパートリウボウに直営店を開店

デパートリウボウ内の直営店、県内スーパー、量販店、百貨店及びホテル等の幅広い業態の取引先があります。



この度は、『生産管理システム導入による受注ロスの解消と利益率向上』に取り組む経営革新計画で承認をいただきました。

【経営革新計画に取り組んだ経緯】

新型コロナウイルス感染症による景気低迷で当社は売上高が落ち込み、2023年1月期(決算)でようやく売上げが増加に転じました。

当社の売上高の約 50%を占める枕やクッションの製造は売上の変動が小さく、安定しているので当社の

柱です。

しかし、生産現場のベテラン従業員が経験値に基づいて生産計画づくり、生産管理、計画管理を行なっているため、受注量に対応できずに受注ロスが21%生じています。

さらに、電気料金、燃料費、輸送費、原材料費の高騰を乗り切るためにも、生産工程でのムダなエネルギー使用削減も急務です。

そこで、現状の経験値による生産管理ではなく、新たに生産管理システムを導入して効率的な生産計画、生産管理を実現し、受注ロスの解消、生産コスト削減をして利益率を高めていきます。

当社が導入を予定している生産管理システムを活用している県外工場(金属加工業)を見学し、同システムが当社の生産体制の改善が可能であると確信しました。

当社の従業員はそれぞれの部門、持ち場で見事にスクラムを組んで仕事をしてくれる、会社の宝です。

彼ら、彼女らにとって働きやすい会社であり、収益をあげていく会社となるため、生産管理システムを導入して、働きやすさと生産性の向上を実現します。

つきましては、ぜひ、貴番組・貴紙にて取材の程、宜しくお願いします。

<資料に関してのお問合せ先> 株式会社イワキ 代表取締役 小林隆 総務部長 嘉数アツミ

宜野湾市志真志一丁目 20 番 7 号 電話番号 098-896-1566

E-Mail: a-kakazu@iwaki-ryukyu.co.jp 当社ホームページ <https://www.iwaki-ryukyu.com>